

あおもりで「生きる・働く」を学ぶキャリア教育実践事業 平成27年度 教育CSRセミナー～未来をつくる人財の育成に向けて～

平成27年9月16日(水) 青森県総合社会教育センター大研修室

9月16日水曜日、当センター大研修室において、公益社団法人経済同友会幹事 D I C株式会社相談役 杉江 和男 氏を講師に招き、平成27年度 教育CSRセミナー～未来をつくる人財の育成に向けて～を開催し、企業、学校・行政関係者等、107名が出席しました。

このセミナーの目的は、企業・事業所及び学校を対象に、教育支援活動に対する理解を深め、教育CSR（企業が社会を構成する一員として主に教育活動に参加すること）活動を促進するためです。

はじめに、杉江 和男 氏 による基調講演、次に、企業等によるキャリア教育取組事例紹介として、株式会社明治東北支社 利光 保則 氏、社会医療法人博進会南部病院 宮森 由貴江 氏、青森市立浪打中学校 熊澤 訓子 氏に具体的な取組について説明いただきました。最後は、会場の参加者との意見交換を行いました。

1. 基調講演：「社会が担う人材の育成」

「社会が担う人材の育成」と題し、杉江氏から、次のことが述べられました。

- 人材とは・・・自主、創造、協働を持った人のことである。
しかし、日本社会の現実、指示されなくても出来る人が全体の2割。
この現状を踏まえると、社会自体が変わらないといけない。
- 学校教育では、「記憶」中心から「理解」する教育に変えることが不可欠。
→自ら創造する、習った理論を理解して応用するという実践力を身に付けることが大切。
- 企業は、社会の変化に対応できないといけない。例えば、消費者にとって望むような商品を改良すること。
- どの社会でも、コミュニケーション力は必要不可欠。
- 学校では、キャリア教育と学校教育は相反するものでなく、互いに認め合い、足りないところを支援することが大切。

〈6年間の教育支援の経験から・・・〉

- 学校への出前授業やPTA等の保護者懇談会において
→終えた後に、必ず、感想文を書いてもらう。
- 学校で習っている教科が将来の仕事の何に役立つかわからず、疑問を持つ子が多い。
→社会が一体となり理解させないといけない。
具体例として…将来海外で働く場合、外国人との意思疎通には、英語が話せないといけないから、語学（英語）力が必要。
まとめ…社会全体が一体となり子どもを育てていくことが重要。



【講師：杉江 氏】



【熱心に講義を受講する参加者】



2. 企業等によるキャリア教育取組事例紹介

【明治(株)】当社のCSRは、自社の事業そのものが社会に必要なものになっていて、お客様の目線に立ち、コミュニケーションをはかり、「食」を通して、健康かつ幸福を共有していく。被災地支援として、福島県双葉町の被災地にいる高齢者へ栄養セミナーや各地の各小学校に「食育に関する出前授業」の実施をしている。



【明治(株) 利光 氏】

【南部病院】キャリア教育実践の具体的な取組は、①奨学生制度 ②出前授業(高校生対象) ③職場体験(中・高校生対象) ④子ども職場参観日(小・中学校対象)である。

子ども達が、地域の仕事に直接触れ、継続し、働くことを身近に感じてもらうことが大切である。今後も地域のため、将来の担い手となる子ども達のお手伝い(教育支援)を継続していく。



【南部病院 宮森 氏】

【浪打中】学校経営方針は、生徒一人ひとりに、人との関わりを大切にしながら、未来に向かって学び続ける力を育てる。また、キャリア教育指導計画は、「夢を志に変える生き方指導」である。

進路教室を行い、県教育支援プラットフォームを通じて依頼した講座等を通して、社会人として、さまざまな形で地域社会に貢献しておられる方々の伝える力(人生観、職業観)により、生徒が社会の一員であることを自覚することができた。



【浪打中 熊澤 氏】

3. 参加者との意見交換

会場の参加者からは、各企業の教育CSRのメリットとは何か、企業の価値や理念は具体的にどんなことかといった質問が出されました。杉江氏からは、企業の価値として会社関連施設の周辺の清掃活動等(CSR活動)を行っているといった取組事例等が述べられました。



【意見交換の様子】

〈参加者のアンケートから〉

- ・学校では、学ぶことのできない生きた学びがあり、将来への夢を抱くことにより、学校で学ぶことの大切さに気づくというサイクルがすばらしいと実感しました。
- ・児童・生徒は、これからの社会を形成していく担い手であり、それを育てるという視点を企業が持つことは、企業の発展にもつながることであり、相手方にとってよいことであると改めて感じた。
- ・企業側として毎年、中・高校生の体験活動を受け入れています。今回学んだことをふまえ、より生徒のみなさんのプラスになるような活動内容を考え実行していきたいと思いました。

〈講師紹介〉



杉江 和男 氏
(DIC株式会社相談役)

【主な履歴】

1970年 大日本インキ化学工業株式会社(現DIC株式会社)入社
2001年 取締役
2009年 代表取締役 社長執行役員
2012年 取締役会長
2015年 相談役

【主な活動】

2010年～ 経済同友会「学校と経営者の交流活動推進委員会」委員長
2010年～ 地域教育推進ネットワーク東京都協議会 副会長
2013年～ 新渡戸カレッジ フェロー
2014年～ 産業教育中央会 理事長
2014年～ 東京都生涯学習審議会 委員長